

2022/08/30

リトルハウス通信

今回のリトルハウス通信は、先月行われた水餃子作りのイベントをご紹介したいと思います。このイベントはリトルハウスでは半年に一回ぐらいで行うもので、社会福祉士や看護師の実習生（学生）さんが来た際に行うことが多いイベントです。買い出しから餃子の調理までを利用者の方や実習生さん、職員が一緒になって行います。

元々この水餃子づくりを始めたのには経緯があります。

リトルハウスにはベッドが二つ設置されている静養室があるのですが、その静養室にほとんど籠り、なかなか作業や利用者同士のコミュニケーションに混ざれないでいるある利用者さんのモニタリング面談を行った時の出来事がきっかけでした。

そのモニタリング面談の際、私や担当の計画相談員さんは、当人がリトルハウスで何をやりたいかを注意深く探っていました。しかしなかなか要領を得ない回答が続き、面談にも飽きているのかな、と思ったその時、「リトルハウスで水餃子づくりがしたい…」と、ポツリと呟かれたのです。

この一言を手掛かりに「水餃子づくりならば、みんなが輪になって餡包みをする事ができるかな」と考えました。そして実習生さんや利用者さん同士のコミュニケーションの場としてももってこいだと思い、半年に一回程度の行事として定着することになったのです。

何もないところからコミュニケーションのきっかけを作るのは非常に難しいですが、リトルハウスでの日中活動における作業や、全員で行う館内の全体清掃、月一回行われるレクリエーション等の中に、コミュニケーションのきっかけは沢山あるように思います。そんなコミュニケーションの中でこそ自分を発信し、相手を受容していくという学びができるのではないのでしょうか。

私たちは就労継続支援施設として運営しており、その中で「作業」を提供し、その作業や仕事の「習熟」を目指していく施設です。しかしそれ以上に、コミュニケーションのきっかけをいかに多く提供できるか、そして自分自身や他者を理解してく「場」としても機能していると考えています。

その一環としての水餃子づくりです。その模様を写真でご紹介したいと思います。

(鈴木)



